

宇野港フォトコンテスト2016 入賞作品講評

総評		写真は記録に根ざした表現媒体なので、どうしてもその撮影対象の選び方が重要になります。一方で、撮影範囲や対象を限定されると、その点での違いを見出しにくくなりがちです。既視感のある作品が見られる中で、今回入賞した作品の多くが、狙いを明確にした上で、捉えるアングルやタイミングなどを工夫をしていた点は高く評価できるものです。引き続き、狙いを明確に、視覚の新鮮さを重視し、大胆にそれを切り取った作品が、本コンテストに数多く応募されることを期待しています。		
賞名	タイトル	氏名	講評	
1	最優秀賞	お帰りなさい	中尾 範雅	アングを上手く取り、主体となる人物を大胆に上下に配置しながら、それぞれの物語を上手く表現している。船上の人が手を振るのと呼応するように、演奏者も手を上げているタイミングの良さ、それを隔てる船体の美しさと相まって、大変素晴らしい作品に仕上がっている。
2	優秀賞	出港	廣澤 節親	広角レンズの特性を活かし、広い範囲を取り入れながら、風船の舞い上がる姿をタイミング良く捉えている。散漫になりがちな引きの画を、しっかりと狙いと画面構成で引き締めた作品となっている。
3	優秀賞	大きなお船が来たよ	加藤 誠司	愛らしい、子ども達の姿を、上手く捉えている。背景となった客船のイルミネーション、手前に置かれたキャンドルも、バランス良く捉えている。
4	特別賞	「入港ありがとう」	前田 幸彦	とにかく元気いっぱいの女子高校生が、ジャンプしている姿を、タイミング良く捉えており、現場の楽しそうな雰囲気が伝わってくる作品。
5	特別賞	休日	難波 猛志	小高い丘で楽しむ家族を前景に、大型客船の優美な姿を上手く取り入れ画面をまとめている。子ども達の歓声が聞こえてくるような作品。
6	特別賞	少年と船	大塚 和正	大型客船のシャープな印象、雲の雰囲気はドラマチックな雰囲気すら漂わせている。それに対して子ども達の仕草はかわいらしく、大変上手くまとめている。手前の看板が目立ち過ぎているのが少し残念。もし、その処理が上手くいっていたら、更に上位賞を狙えた作品。
7	特別賞	リハーサル	米田 喜六	港でのイベントのリハーサル風景。参加者の熱意が感じられる作品。人物を捉えるタイミングにも十分な配慮が感じられる。
8	特別賞	藤棚と船	野間 悦二	港から少し離れた場所から撮影されたもの。画面全体を覆い隠すように、咲き乱れる藤を大胆に取り入れたアングルが良い。
9	入選	にっぽん丸入港	片山 三行	大きな画面に大型客船を描く人物を、手前に大きく捉えている。面白いシーンだが、状況を説明しようとして、画面が横に間延びしてしまったのが惜しい。
10	入選	ようこそ「てんりゅう」へ	白神 佐代子	自衛隊員と子どもの微笑ましい、1シーン。良いタイミングで捉えているが、画面右側をもう少し整理する方が良い。
11	入選	歓迎風景 No2	細川 昌久	入港を歓迎する演奏風景。指揮者の方の動きをよく見て、タイミング良く捉えている。もう少し狙いがはっきりしていると、散漫になりがちな画面が整理できたのでは。
12	入選	宇野港夜景	臼井 寛	船の入出港のシーンを、長時間露光で撮影し、その軌跡を美しく捉えた作品。狙いははっきりしているので、手前部分をもう少し上手くトリミングすることで、より良くなった作品。
13	入選	釣りで楽しむ	堀 紘治	夕景の逆光を活かし、シルエットでまとめたドラマチックな作品に仕上がっている。人物の配置、漁船の位置も絶妙なバランスで捉えられている。
14	入選	海上の消火訓練	大塚 寿宏	放物線を描いた放水の状況を、タイミング良く捉えている。手前の小型船の位置も良く、バランスの取れた作品。
15	入選	港フェスティバル	武下 信夫	フェスティバルの雰囲気を上手く捉えると共に、放水をタイミング良く捉えており、しっかりと狙いを感じる。